

2/c-5100 R

29
13

数理解析研究所講究録 589

代 数 的 整 数 論

禁帶出期間

61.6.11 - 6.18

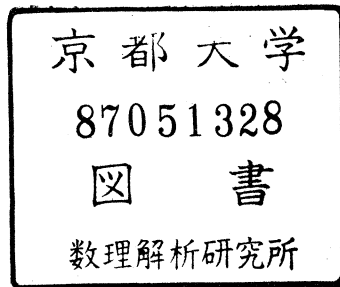
数研三書室

京都大学数理解析研究所

1986年4月

RIMS Kokyuroku 589

Algebraic Number Theory



April, 1986

Research Institute for Mathematical Sciences

Kyoto University, Kyoto, Japan

まえがき

この講究録は、1985年10月13日から10月16日までの4日間、京都大学数理解析研究所で行われた研究集会「代数的整数論」の講演内容を各講演者にまとめていただき、それを講演の順にならべて作成されたものです。

この研究集会は代数体の絶対ガロア群の理論等の権威である Neukirch 氏の来日に合せて計画されましたが、京都大学理学部で行われた研究集会「ガロア表現と代数的整数論」(代表者 東大 伊原康隆教授)に引き続いて行われることになったため、そちらに出席された Coleman 氏、Anderson 氏にも講演していただくことができませんでした。大変残念なことでありますが、Coleman 氏はその後健康を害し入院されたため、原稿をいただくことができませんでした。伊原教授に講演内容と関連する文献等について書いていただきました。

この研究集会を成功させて下さった講演者、出席者の方々、いろいろとお世話下さった数理解析研究所の方々に深く感謝します。特に、伊原教授にはプログラム作成段階

から大変お世話に存りました。

研究集会の旅費については、数理解析研究所及び科学
学研究費総合A（代表者 白谷克己 九丈教授）の援助をいた
だきました。

東北大学教養部

内田 興二

代数的整数論

研究集会報告集

1985年10月16日～10月19日

研究代表者 内田 興二 (Koji Uchida)

目 次

1. Neukirchの bijection.....	1
東農工大 小松 啓一 (Keiichi Komatsu)	
2. Mixed Motives	8
リーゼンスバーグ大 Jürgen Neukirch	
3. Z_p^d 拡大体上の最大P分岐 p-abel 拡大体について.....	14
京大・理 上田 勝 (Masaru Ueda)	
4. 楕円単数と2変数P-進L-関数.....	32
九大・理 小塚 和人 (Kazuhito Kozuka)	
5. ガウスの和の ℓ 進展開とその応用.....	52
都立大・理 三木 博雄 (Hiroo Miki)	
6. ON A QUESTION ARISING FROM COMPLEX MULTIPLICATION THEORY.....	58
ミネソタ大 Greg W. Anderson	
7. On some properties of the universal power series for Jacobi sums.....	79
東大・理 伊原 康隆 (Yasutaka Ihara)	
8. Ramified Torsion Points on Curves	93
カリフォルニア大 Robert Coleman	
9. 一般 Euler数の p 進補間とその応用.....	94
都立大・理 津村 博文 (Hirofumi Tsumura)	

10. E. de Shalit 「The Explicit Reciprocity Law in Local Class Field Theory」 (preprint) の紹介	105
東大・理 金子 昌信 (Masanobu Kaneko)	
11. 多項式 x^n+ax^k+b のガロア群について	112
立教大・理 長田 弘幸 (Hiroyuki Osada)	
12. アーベル拡大の Genus Group とその応用	123
新潟大・教養 竹内 照雄 (Teruo Takeuchi)	
13. 3次体の3次不分岐巡回拡大の構成	136
都立大・理 尾台 喜孝 (Yoshitaka Odai)	
14. Galois拡大の相対類群の p-rank	149
富山医薬大 白井 進 (Susumu Shirai)	
15. Scholzの Number Knotの中心解について	161
名大・教養 三宅 克哉 (Katsuya Miyake)	